

## 我が家は大家族

### 「我が家の双子」 菅原 祐也さん

(3歳児 啓生くん  
1歳児 康生くん・教生くんのお父さん)



日頃より、子ども達をお預かりいただき、興道北部保育園の先生方には心より感謝申し上げます。長女・一紗が年少組であった2013年から、約5年間お世話になっております。現在、長男の啓生、双子の康生、教生、3人が北部保育園に通っております。

双子の面倒は「大変」の一言に尽きます。一紗、啓生がしなかったことばかりをしてくれませぬ。一人がわざと水をこぼせば、もう一人がピチャピチャと叩き、広げてくれます。2人で協力していたずらしているようにしか見えません。また最近、兄の真似をして、ソファから意図的に転げ落ちたり、高い所からジャンプしたりとアクロバティックな遊びが増えてきました。見ている方は肝を冷やします。一紗、啓生は大人しかたのだとつくづく感じます。

大変ではありますが、家族6人楽しく過ごしております。今後、男4人で何して遊ぼうかと楽しみにしているところです。

### 「にぎやかな家族」 齋藤 菜穂美さん

(3歳児 權生くん、2歳児 湊生くん、  
0歳児 花帆さんのお母さん)

我が家は權生・湊生・花帆の3人の子どもの他に私たち夫婦、祖父母、曾祖父母の9人家族です。4才の長男と3才の次男、1才半の長女なのでまだまだ小さい子どもたちにはたくさん手がかかっています。兄弟ゲンカはもちろん3人一緒に泣いたり、抱っこ〜!となったり3つ子かな?と思うくらい大変な時期もありました。そんな中でいろんな世代の家族に助けられ、子育てを一緒に手伝ってもらいました。私たちにはない知識を教えてもらい、子どもたちにとっても良い刺激になっていると思います。

最近では、遊び方が激しくなってきたので外でたくさん体を動かして遊ぶようにしています。子育てをされていて大変だと感じる事はありますが、子どもたちの笑顔や3人仲良く遊んでいる姿に毎日癒やされています。

これからも家族みんなで協力しながらのびのびとした子育てをしていきたいと思っています。



### 『日々精進』 主事 刈間 一仁

今年度より、主事として採用となりました。職務上、子どもたちと触れ合う機会は少ないですが、給食を食べる時などに子どもたちから色々な話を聞いてコミュニケーションを取るようになっております。また、子どもたちと一緒にカレーを作ったり、児童会館にプラネタリウムを見に行ったり、餅つきで一緒に餅をついたり、様々な行事にも参加しております。子どもたちの元気な姿を見て、私自身も元気をもらっております。慈しみのある豊かな人間性を子どもたちが育ていけるように、子どもたちの人権や主体性を大いに尊重し、保護者が安心して子どもたちを託すことのできる保育所を維持していくために、私自身も研鑽を積んで、精進して参りますので、何卒宜しくお願い致します。

大好きな園長先生と過ごす時間も残りわずかとなりました。園長先生のまわりにはいつも子どもたちが集まり、笑顔が生まれていました。これからも職員みんなの温かいまなざしで、子どもたちを見守り育てていきたいと思っております。

編集後記

# ゆめポケット

第22号 2018年3月1日

社会福祉法人 米沢仏教興道会  
興道北部保育園

米沢市塩井町塩野 1476-1

TEL 0238-21-5070

FAX 0238-21-5128

http://hokubu@yb-koudou.jp



ゆめくみ  
27人

### 『大きくなったゆり組さんへ』

外で遊ぶことが好き。体を動かして遊ぶことが好き。ブロック遊び、お絵描き、折り紙が好き。いろいろな遊びが好きで、きらきらとした表情を毎日保育園で見せてくれた、年長組27人の子どもたち。時には友だちとけんかをして悔しい思いをしたり、友だちと一緒に笑ったり喜びあったり、保育園の生活の中でいろいろな経験をしましたね。そしてたくさんの人と出会い、お家の人からたくさんの愛情をもらって、心とからだも大きくなりました。

4月からは1年生。小学校でも楽しいことが待っています。新しい友だちを作って、いろいろなことに挑戦し、きらきらした笑顔を見せながら、さらに大きく成長してほしいと思います。

年長組担任：釜田 桂子



「はれのちくもり・一時あめ」の心に寄り添って

まだ中学生だった頃友達と遊びに行った公園で、地元の保育園の園児たちが保育者と一緒に散歩に来ていました。“あんなふうに子どもたちと一緒にいられたらいいなあ”と漠然とした思いで見ていた自分を50年経った今でも鮮明に覚えています。そしてその時の想いが現実となり、振り返れば45年の時が流れていました。

この間、子どもを取り巻く社会的環境はめまぐるしく変化し、45年前はとても想像できないくらい、便利で豊かさが溢れる時代になりました。それでも虫捕りや泥んこ遊び、ヒーローやヒロインになりきって歓声をあげながら遊びに夢中になっている子どもたちの姿をみると、今も45年前も変わることのない子どもたちの笑顔がここにあって、それが日々私たちには大きな励みとなってきたことを改めて感じています。

「はれのちくもり・一時あめ」ここで生活する子どもたちの姿だと思っています。何よりも快晴の毎日であればよいのですが、時には曇り空のようになんか不安な日もあれば、友達とけんかをして悔しくて悲しくて大粒の涙がこぼれ落ちる雨の日もあります。

こうして複雑に揺れ動きながら成長していく子どもたちは、その時々このころもちに共感してくれる人がそばにいて、この先幾多の困難も乗り越えていく力になっていくと信じています。毎日子どもたちと向き合い生活をしている私たち保育者にはそうした大きな役割があることを忘れてはなりません。

園長 高橋 明美



もちつき



笹巻き作り



野球教室



運動会

『えんちょうせんせいはね、いつも やさしく  
みんなが えがおに なれるように してくれるんだよ』  
~ゆり組女の子~



お店屋さんごっこ



きらきら発表会



ハロウィン



焼き芋



茶道

『体育あそび』  
からだを  
うごかすのって  
たのしい!



すすめ!  
すすめ!



いっしょに、ころんっ



タンバリンに  
むかって..

ジャンプ!



右足けんけん  
左足けんけん



逆上がり  
できたー!



うでをまげて  
よいしょ!



おちないように  
ゆっくり ゆっくり



みてみて!  
さかさまー!!



『体育あそび』の  
先生と一緒に..

子どもたちはからだを動かしてあそぶことが大好きです。

『体育あそび』を通して、友だちや保育者と一緒からだを動かす楽しさを共感し合ったり、互いを認め合ったりし、あそぶ楽しさを感じています。

からだを動かすって楽しい!と思えるような環境をつくっていきたいと思います。